

科目名	化学英語B	英語科目名	English for Chemistry B
開講年度・学期	平成24年度・前期	対象学科・専攻・学年	物質工学科5年
授業形態	講義	必修 or 選択	選択
単位数	1単位	単位種類	学習単位(30+15)h
担当教員	亀山雅之	居室(もしくは所属)	電気・物質棟4階
電話	0285-20-2801	E-mail	kameyama@oyama-ct.ac.jp
授業の達成目標	授業達成目標との対応		
	小山高専の教育方針	学習・教育目標(JABEE)	JABEE 基準要件
1. 発音記号を見て英語の発音がわかること。	⑥	D-1 E-1	a, b, d(2), f, g
2. 英語のスペルを見て正しい発音ができること。	⑥	D-1 E-1	a, b, d(2), f, g
3. 正しいアクセントで発音できること。	⑥	D-1 E-1	a, b, d(2), f, g
4. 可算名詞と不可算名詞が区別できること。	⑥	D-1 E-1	a, b, d(2), f, g
5. 品詞の区別ができ、日本語訳もそれに応じてできること。	⑥	D-1 E-1	a, b, d(2), f, g
6. 主語と述語が分かり、日本語訳もそれに応じてできること。	⑥	D-1 ○ E-1	a, b, d(2), f, g
7. 自動詞、他動詞の区別が付き、日本語訳もそれに応じてできること。	⑥	D-1 E-1	a, b, d(2), f, g
8. 現在、過去、未来のテンスの違いが理解でき、それに合わせた日本語訳ができること。	⑥	D-1 E-1	a, b, d(2), f, g
9. 関係代名詞が表す内容を具体的にすることができ、それを日本語訳の中で論理的に表現できること。	⑥	D-1 E-1	a, b, d(2), f, g
10. 化学英語300語を覚えること。	⑥	D-1 E-1	a, b, d(2), f, g
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法			
達成目標1～4に対しては中間、期末試験の関連問題および課題の60%以上の成績で達成とする。 達成目標5～10に対しては期末試験の関連問題および課題の60%以上の成績で達成とする。			
評価方法			
原則として課題40%、試験60%(中間と期末の合計)の加重平均で算出する。 ただし、各中間試験の結果によりクラス替えを行う。			
授業内容	授業内容に対する自学自習項目		自学自習時間
1. ガイダンス、単語テスト	復習：単語テスト問題を再度回答する。		2
2. 単語テスト、Easy Chemistry 13-15	予習：単語の意味と使い方を調べる。教科書の該当部分を和訳する。 復習：重要な構文の解釈の方法を理解する。		4
3. 小テスト13-15、Easy Chemistry 16-18	予習：単語の意味と使い方を調べる。教科書の該当部分を和訳する。 復習：重要な構文の解釈の方法を理解する。		4
4. 中間試験、Easy Chemistry 19, 20	予習：単語の意味と使い方を調べる。教科書の該当部分を和訳する。 復習：重要な構文の解釈の方法を理解する。		4
5. 答案返却・解説、小テスト19-20、Easy Chemistry 21, 22	予習：単語の意味と使い方を調べる。教科書の該当部分を和訳する。 復習：重要な構文の解釈の方法を理解する。		4
6. 小テスト21, 22、Easy Chemistry 23-25	予習：単語の意味と使い方を調べる。教科書の該当部分を和訳する。 復習：重要な構文の解釈の方法を理解する。		4
7. 小テスト23-25、Easy Chemistry 26-28	予習：単語の意味と使い方を調べる。教科書の該当部分を和訳する。 復習：重要な構文の解釈の方法を理解する。		4

8. 中間試験、Easy Chemistry 29, 30	復習：中間試験問題を再度回答する。	2
9. 答案返却・解説、小テスト 29, 30、Easy Chemistry 31, 32	予習：単語の意味と使い方を調べる。教科書の該当部分を和訳する。 復習：重要な構文の解釈の方法を理解する。	4
10. 小テスト 31, 32、Easy Chemistry 33、Industrial Chemistry 34, 35	予習：単語の意味と使い方を調べる。教科書の該当部分を和訳する。 復習：重要な構文の解釈の方法を理解する。	4
11. 小テスト 33-35、Industrial Chemistry 36-38	予習：単語の意味と使い方を調べる。教科書の該当部分を和訳する。 復習：重要な構文の解釈の方法を理解する。	4
12. 中間試験、Industrial Chemistry 39, 40	予習：単語の意味と使い方を調べる。教科書の該当部分を和訳する。 復習：重要な構文の解釈の方法を理解する。	4
13. 答案返却・解説、小テスト 39, 40、Industrial Chemistry 41, 42	予習：単語の意味と使い方を調べる。教科書の該当部分を和訳する。 復習：重要な構文の解釈の方法を理解する。	4
14. 小テスト 41, 42、Industrial Chemistry 43、Chemical Industry 44, 45	予習：単語の意味と使い方を調べる。教科書の該当部分を和訳する。 復習：重要な構文の解釈の方法を理解する。	4
15. 小テスト 43-45、Chemical Industry 46-48	予習：単語の意味と使い方を調べる。教科書の該当部分を和訳する。 復習：重要な構文の解釈の方法を理解する。	4
・・・・・・期末試験・・・・・・	復習：試験問題を再度回答する。	2
自学自習時間合計		60
キーワード	化学英語、発音記号、品詞、主語、述語、構文、解釈	
教科書	中村喜一郎、青柳忠克 共著「やさしい化学英語」(オーム社)	
参考書	1. 千原ほか 編「化学英語の活用辞典」(化学同人) 2. 桜井 寛 著「化学英語用法辞典」(東京化学同人)	
カリキュラム中の位置づけ		
前年度までの関連科目	全ての英語関連科目および化学関連の基礎科目	
現学年の関連科目	卒業研究	
次年度以降の関連科目	物質工学専攻：ゼミナール I, II, III	
連絡事項		
1. 予習および復習を必ず行うこと。 2. 英文は構文に注意して和訳すること。まずは正しく直訳すること。慣れてきたら、意味の通る日本語に訳してもよい。 3. 理解が困難な場合は、そのつど質問すること。		
シラバス作成年月日	平成24年2月29日	